

主な内容

- 2 見て、学んで、体験して 御所浦恐竜の島博物館
- 10 熊本県知事選挙
- 12 いきいき健康
- 14 3月1日から戸籍証明書の請求が全国の市区町村でできるようになりました
- 15 暮らしの情報
- 29 学芸員のイチオシ/天草の匂いただきます!
- 30 元気☆あまくさっこ/〇〇な人み~つけた!
- 31 ハッピーバースデー
- 32 宝島のわだい
- 34 キラリ天草人
- 35 市民のひろば
- 38 休日在宅病(医)院/水道修繕当番店 献血日程
- 39 お出かけ情報/市長コラム
- 40 あまくさ歩活(あるかつ)

天草市公式 SNS



人のうごき

1月末日現在

1月中の異動		※()内は前月比	
人口	73,297人 (140減)	出生	36人
男	34,658人 (56減)	死亡	167人
女	38,639人 (84減)	転入	86人
世帯数	36,093 (59減)	転出	95人

問い合わせ先

本庁	天草市役所 ☎23-1111 〒863-8631 天草市東浜町8番1号
支所	牛深☎73-2111・有明☎53-1111 御所浦☎67-2111・倉岳☎64-3111 栖本☎66-3111・新和☎46-2111 五和☎32-1111・天草☎42-1111 河浦☎76-1111

見て、学んで、体験して 御所浦恐竜の島博物館



いよいよ、3月20日にリニューアルオープンする御所浦恐竜の島博物館。恐竜や古代哺乳類など、希少で学術的価値の高い多様な化石が発見されている天草には、恐竜時代に始まる1億年の歴史が記録されています。今号では、「天草1億年の大地の記録」を貴重な資料や映像、模型などで知ることができる御所浦恐竜の島博物館の魅力について紹介します。

☎ 御所浦白亜紀資料館 ☎67-2325

アクセス

- 定期船** ▶ 本渡港(1日5便)、棚底港(1日13便)
大道港(1日2便)、水俣港(1日3便)
※カーフェリーは棚底港(1日4便)、大道港(1日1便)のみ
- 海上タクシー** ▶ 各業者に連絡して利用してください。
- 開館時間** ▶ 午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 休館日** ▶ 月曜、年末年始(12月30日~翌年の1月1日)
※月曜が祝日の場合は翌日休館



▲定期船・海上タクシーの詳細はこちら

施設の概要

所在地 = 御所浦町御所浦(御所浦港前)
 延床面積 = 2,718㎡
 建設費用 = 約14億6,000万円
 構造 = 鉄筋コンクリート3階建て
 (3階は御所浦地区コミュニティセンター)

プロローグ

地球は今から約46億年前に誕生しました。長い時間をかけて大陸が生まれ、形を変え、そして多くの生き物たちが絶滅と繁栄を繰り返してきました。

このエリアでは、地球誕生から天草地域に大地が出現した中生代白亜紀まで、地球上に出現した生き物たちをイラストや化石で紹介しています。

白亜紀の天草

中生代白亜紀時代、約1億年前の天草は恐竜たちの楽園でした。陸には川が流れ、水辺には肉食恐竜や植物食恐竜、カメやワニなども暮らしており、空には翼竜も飛び回っていました。海の中にはアンモナイトや魚をはじめとするさまざまな生き物が暮らしていました。

このエリアでは、天草地域で発見された恐竜時代の化石を、当時生きていた陸や海などの環境ごとに展示しています。

おすすめ

日本最大級の肉食恐竜の歯

1997年3月に御所浦町で発見された日本最大級の肉食恐竜（獣脚類）の歯化石。長さ6.4cmの化石は先端が欠けていますが、元々は10cmほどの歯であったと推定されます。これは日本最大級で、全長10mを超える恐竜のものと考えられます。

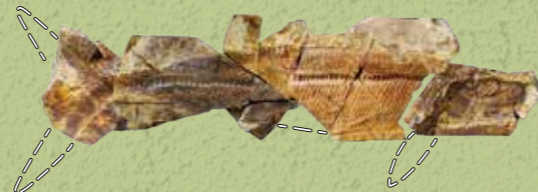


おすすめ

天草で見つかった新種の生物 アマクサゴジョウラムカシウオ

2012年、御所浦町の中生代白亜紀後期（約8,500万年前）の地層から発見された大型の魚化石で、大きいものは80cmを超えます。アジアで初めて発見された海生（海にすむ）のイクチオデクテス類で、2018年に新属新種の「アマクサイクテス・ゴジョウラエンシス」として報告されました。和名は「アマクサゴジョウラムカシウオ」。何匹も折り重なった状態で見つかり、群れで泳いでいた可能性があります。

白亜紀の海生の魚がこのような状態で見つかることは世界的にも大変珍しいことです。館内には世界唯一の復元模型も展示しています。



おすすめ

大型の三葉虫 アカドパロドキシデス

カンブリア紀（約5億3,800万～約4億8,500万年前）に繁栄した三葉虫の仲間、レドリキア類というカンブリア紀を代表するグループに属しています。レドリキア類の中では最大級のもので、三葉虫は約1万種類以上が知られており、ほとんどが小さなものばかりですが、この標本は全長約30cmある大きなものです。



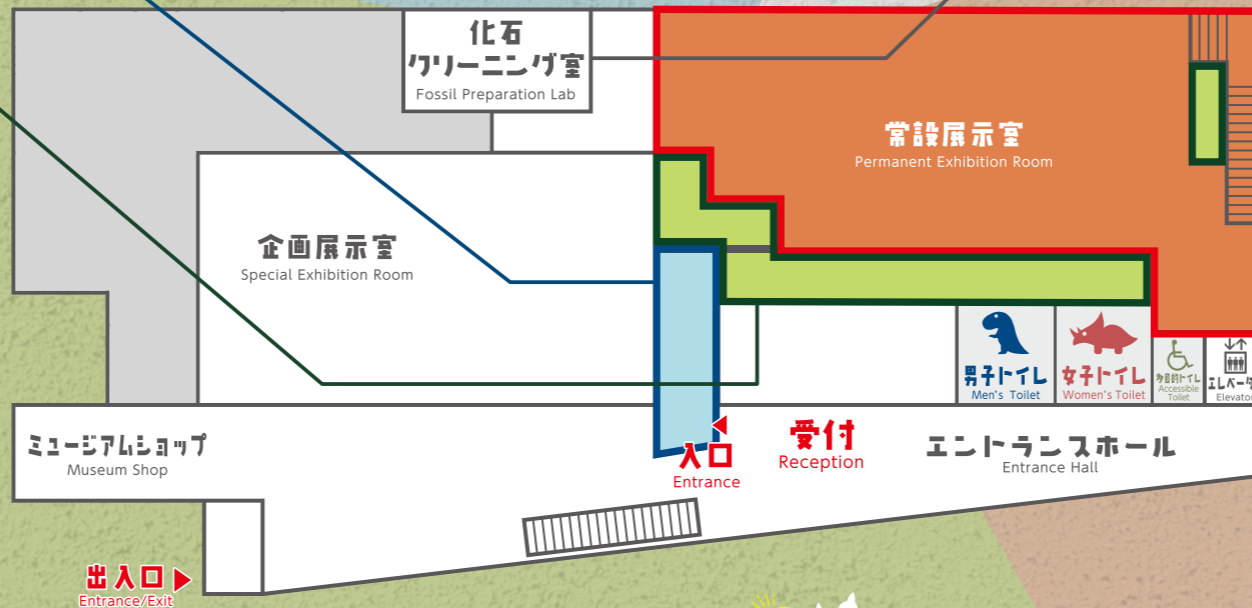
化石クリーニングとは？

化石の周りの余分な岩石を取り除いていく作業のことを「化石クリーニング」といいます。発見された化石は、そのまま研究や展示に使うことが難しい場合が多いため、とても重要な作業で、博物館を支えるために欠かせない仕事の一つです。

この化石クリーニング室では、スタッフが実際に作業を行っているようすを見ることができます。



1F



研究を支える 世界の化石

誰もが知っているティラノサウルスやトリケラトプスなどの恐竜化石を中心に展示しています。

化石の研究では、研究対象の化石と他の地域で発見された化石とを比較することがあり、天草地域で発見された化石の正体を解き明かすために遠い国で発見された化石を用いることもあります。

世界中の化石たちが、天草の化石の正体を知るための手掛かりとなるのです。

おすすめ

触れる化石 アンモナイト



館内で、実物の化石に触ることができます。この化石は、上天草市から発見されたテキサナイテスというアンモナイトの仲間、ぐるぐると巻いている殻が特徴的です。見て、触れて、観察してみましょう。

おすすめ

ティラノサウルスの 等身大複製骨格



ティラノサウルス

史上最大級の
陸上の王者

中生代白亜紀末（約7,000万年～6,600万年前）に北アメリカ地域に生息していた全長が最大13mにもなる大型の肉食恐竜（獣脚類）。旧資料館ではスペースの都合上展示ができず、県外に貸し出して展示されることが多いものでした。

ティラノサウルス類の歯の化石は天草町でも見つかっています。

現代の天草

天草諸島は3つの海に囲まれた温暖な場所です。大小120を超える島々は緑で覆われ、昔から残されてきた自然環境には、多くの生き物たちの姿を見ることができます。

中には、今では貴重となった「昔からいる生き物」も。ぜひ皆さんの目で確かめてみてください。



▲ミナミハンドウイルカの骨格



恐竜絶滅後の約5000万年から3800万年前、哺乳類の時代になった新生代の天草は、現代とは異なる熱帯の環境で、さまざまな生き物が生息していました。この時代の地層からは、今では絶滅してしまった大型の陸上哺乳類の化石や、県天然記念物の貨幣石、そして多くの貝類化石が見つかっています。このエリアでは、天草地域の大地の変動や生き物の移り変わりについて紹介しています。

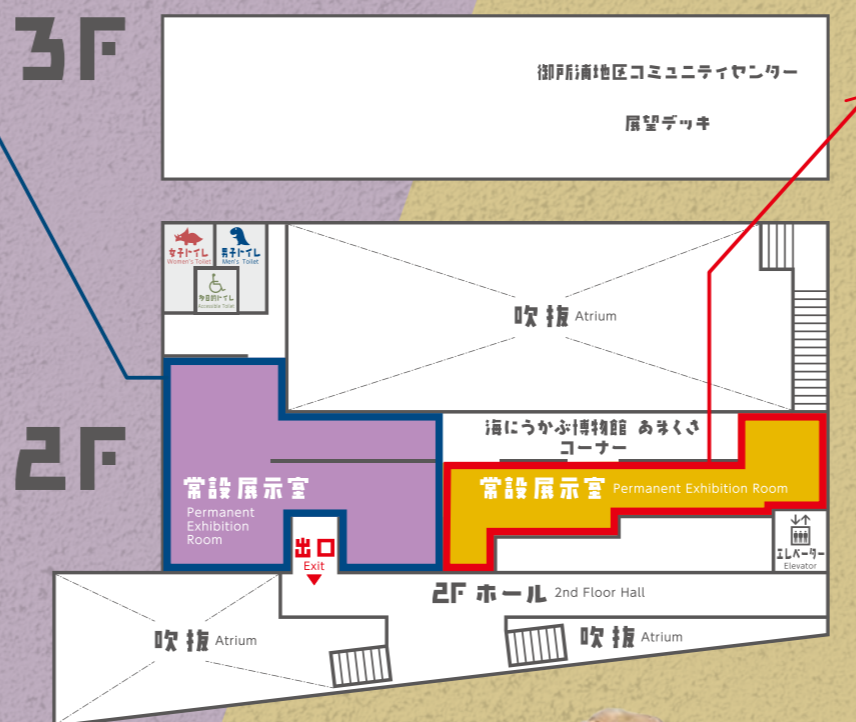
新生代の天草



天草の海の多様性

天草地域を囲む海を4つのコーナーに分けて紹介しています。それぞれの海の特徴を、そこにすむ貝や魚などの生き物たちと一緒に深く知ることができます。

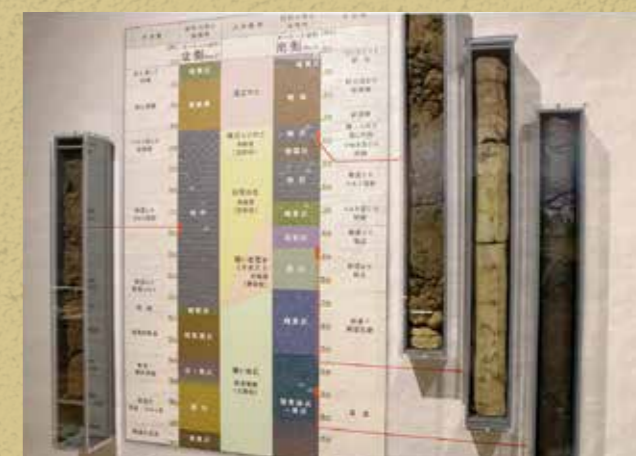
身近な海の世界をじっくりのぞいてみましょう。



博物館の地下には何がある?

大地の下、地下を調べるために地層を削り、岩石を抜き取り採集する方法を「ボーリング」といいます。

博物館の地下の地層をボーリングして得られた試料・ボーリングコアを調査した結果、過去の環境や出来事などさまざまなことがわかりました。博物館の地下がどのようなになっているのか、確認してみましょう。



天草の映像シアター

天草はどのようにしてできたのか、天草の四季や、海や陸の生き物たち、自然豊かな天草の魅力をご覧ください。



観覧料 ※市内の小・中学生、高校生は無料

	個人	団体(20人~)	年間
常設展示 一般	500円	400円	1,000円
常設展示 高校生・大学生	300円	240円	600円
常設展示 小・中学生	200円	160円	400円
特別・企画展示	展示の内容によって異なる		



おすすめの 新生代の大型哺乳類 コリフォドン

コリフォドン類は汎歯類^{はんしるい}という絶滅したグループに属する大型哺乳類です。御所浦町の牧島にある約4,900万年前の地層・弥勒層群から化石が発見されました。この化石は国内最古の大型哺乳類の化石として非常に重要なものです。化石の近くには、日本唯一の全身復元模型も展示しています。

ゆっくりとした“島時間”を感じにお越しください



御所浦物産館しおさい館
代表 橋本 美和 さん



▲しおさい館(1/25撮影)

お土産品の販売のほか、観光案内やレンタカー・レンタサイクルの受け付け、海上タクシーの紹介など、御所浦の窓口を担っています。

博物館のオープンに向けて、地元産品を使ったオリジナル商品の開発をしています。地元生産者の活力向上、そして地域活性化へとつなげていきたいです。また、各種ツアーと連携をとり、天草全体を巻き込んで観光客の皆さんに喜んでもらえるよう取り組んでいきます。

私のおすすめのお土産は、御所浦の魚を使った「すり身バーガー」と「恐竜の骨クッキー」です。鳥峠や伝馬船など、御所浦ならではの魅力もあります。船でしか来られない離島で非日常を味わってみませんか。



鯛の骨を粉末にして混ぜた恐竜の骨クッキー

御所浦を1日楽しんでもらえる島に

「これからの御所浦を盛り上げていきたい」という想いから、令和4年6月に町内在住者や出身者で「御所浦せんばいなか」というまちづくり団体を結成しました。御所浦全体のサービス力向上や魅力発信、雇用促進を目的に活動しています。

御所浦には飲食店や宿泊施設が少ないので、キッチンカーが営業できる場所を確保したり、宿泊施設に今後の対応への呼び掛けなどを行ったりしています。また、船の利便性向上のため、関係機関との協議や港周辺の清掃にも取り組んでいます。他にも、御所浦を「自転車の島」にしたいとの想いから、レンタサイクルで島を回ってもらえるよう計画中です。

住民の意見を反映しながら、訪れた人に“ありのままの御所浦の魅力”を知ってもらえるような仕組みを作りたいです。

御所浦せんばいなか
代表 山下 幹生 さん



＼マルシェもあるよ!／

3月20日(水)は御所浦に集まれ! ～オープニングイベント～

午前11時～ 嵐口春日太鼓、地元保育園児・小学生によるステージイベント など

午後1時～
開館記念講演 第1部 福井県立恐竜博物館 探求・体験課長 宮田 和周 さん
第2部 モンタナ州 カーター郡立博物館 学芸員 ネイサン・キャロル さん

注意事項
・ イベントの内容や時間は変更になる場合があります。
・ 式典開催のため、博物館への入館は午後1時からとなります。
・ 博物館への入館はホームページから事前予約をお願いします。混雑具合によっては入館をお待ちいただく場合があります。

博物館で化石について学んだ後は…化石採集体験に行ってみよう!

博物館から歩いて5分 トリゴニア 砂岩化石採集場

島の南部に位置する採石場跡地の岩石には、約1億年前(中世代白亜紀)の貝の化石などが多く含まれており、その岩石を運んできたこの場所は安全に化石採集体験ができるようになっています。

ここでは、まれにアンモナイトの仲間が発見されることも。貴重な化石が見つかった場合は博物館に所蔵となり、研究や展示の対象となるかも!?

体験料

小・中学生 500円(400円)、
高校・大学生 800円(700円)、大人 1,000円(900円)
※()内は10人以上の団体料金(事前予約制)

申込方法

御所浦恐竜の島博物館ホームページで確認してください。

ホームページ▶



どうして御所浦では化石が見つかるの?

御所浦島のほとんどは、約1億年前の中世代白亜紀・恐竜時代の地層でできており、島のあちこちで恐竜時代の生物の化石を見ることができます。化石として見つかる生物は、当時生きていたものうちほんの一握り。たくさん化石が身近な場所から見つかる場所は、全国的にも珍しいです。

せっかく御所浦に来たら…アプリを使って島をめぐる!

御所浦 恐竜の島 探検地図

しまたん

地図上で御所浦の見どころや体験スポットを紹介しています。

恐竜と写真が撮れる「恐竜カメラ」

恐竜が原寸サイズで島の風景に重なって見えます。一緒に記念撮影すれば思い出に残ること間違いなし。



おすすめコース

エリアごとのコースや体験コース、クルージングコースなどを選択できるようになっていて、初めての人でも分かりやすく御所浦を巡ることができます。

スタンプラリー

チェックポイントを回ってスタンプを集めよう。※後日開催予定



詳細はこちら

※画面は開発段階のものです。
※3月上旬運用開始予定